

公衆衛生看護学概論

必修 開講年次：2年次後期 科目区分：講義 単位：1単位 講義時間：15時間

■**科目のねらい**：公衆衛生看護活動の理念と機能について理解し、地域で生活する人々が生活の中で直面する健康問題を個人・家族・地域の問題として解決・改善するプロセスにかかわる公衆衛生看護活動について基本的な考え方と方法を学習する。

■**到達目標**：①公衆衛生看護の理念と目的を理解し、地域における保健活動と公衆衛生看護の重要性を述べることができる。
②公衆衛生看護の対象としてのコミュニティを理解し、地域の健康ニーズについて述べるができる。
③公衆衛生看護の活動の場における特性と活動方法を説明できる。
④公衆衛生看護の歴史を理解し、コミュニティケアにおける保健師の役割を説明できる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎河原田 まり子・清水 光子

■**授業計画・内容**：

- 第1回 公衆衛生看護の理念と目的
- 第2回 公衆衛生看護の活動対象
- 第3回 公衆衛生看護の活動方法
- 第4回 公衆衛生看護の活動分野（行政）
- 第5回 公衆衛生看護活動の活動分野（産業・学校）
- 第6回 社会環境の変化と健康課題
- 第7回 公衆衛生看護の歴史
- 第8回 公衆衛生看護学概論まとめ

■**教科書**：「標準保健師講座1 地域看護学概論」／奥山則子他（医学書院）

■**参考文献**：「最新保健学講座I 公衆衛生看護学概論」／金川克子 編集（メヂカルフレンド社）
「公衆衛生看護学JP Community Health Nursing in Japan」／荒賀直子、後閑容子 編集（インターメディカル）
「無名の語り 保健師が「家族」に出会う12の物語」／宮本ふみ（医学書院）

■**成績評価基準と方法**：定期試験60%、提出物30%、授業態度10%

評価方法	到達目標				評価基準	評価割合 (%)
	①	②	③	④		
定期試験	◎	◎	◎	◎	60%以上を正解していること。	50
レポート	◎	◎	◎	◎	課題(レポート)を提出していること。	40
授業態度	○	○	○	○	積極的な姿勢。	10
出席					2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：地域保健学概論、公衆衛生学、保健医療福祉行政論、疫学 など

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：保健師活動の基本的な考え方や活動対象及び活動方法について学習します。教科書を事前に読んで予習をして積極的に授業に参加して下さい。また、教科書だけでなく、市町村で出している広報誌や新聞などを通して、幅広く人々の健康に関連する内容について関心を持って下さい。新たな用語や概念が出てきますので、授業中に理解できなかった内容は教科書で復習するなど主体的に学習を進めて下さい。